

祭典ニュース

発行
2024日本のうたごえ祭典in
実行委員会 宣伝
広報委員会

祭典HP =<https://sites.google.com/view/2024asagauta-festival>

佐賀うた協第7回通常総会開催される



(佐賀うた協 第7回通常総会)

日本のうたごえ祭典in佐賀まで7ヶ月余りに迫った4月14日、佐賀市神野公民館において、県新日本婦人の会全川会長、九州のうたごえ連絡協議会森川議長、日本のうたごえ全国協議会三輪副会長が臨席のもと、佐賀のうたごえ協議会第7回定期総会を開催し、2023年度の活動報告、決算及び2024年度の

方針、計画、予算について原案通り可決し、新役員のもと新年度のスタートを切ることができた。

今年の総会は、例年になく活発な討論が相つき、祭典を身近に控え、祭典を一人ひとりのの中に、「自分のこと」として受け止めてもらうことができた。また、煩雑な仕事を役員だけでやるのではなく一団員にも投げかけて欲しい！と言ったような積極的な意見も出た。祭典までに我々がやる事は、全ての演目の出演者を増やし、700人の歌い手を集めることと県内6つの地域実行委員会でのそれぞれの目標を、必ずやりあげ

練習に参加して

三人で240歳

「ふんふんの四季」練習に参加の鯖瀬明美、林野由紀子、横尾たか子さんは、3人合わせれば240歳という熟女の仲良し3人組。3人とも歌が大好きで50年来の歌仲間。今までに『悪魔の飽食』や『第九』にも3人で参加し、『悪魔の飽食』で海外にも行ったことも忘

れられないとか。

今回参加の理由を尋ねると「①池辺先生の魅力

「『悪魔の飽食』の時の合唱の指導が忘れられない。『アメイジング』を池辺先生のご指導で是非歌いたい。②佐賀アリーナの舞台に立つこと、わたくしと楽しむ」と楽しんで話してくださいました。最後に「でもやっぱり歌うことが好きだからが一番よね」と。

親子三代で歌う

「ぞうれっしやがやつ

てきた」の練習には、森崎日菜ちゃん、睦(母)さん、ひずる(父方祖母)さん、小川雅子(母方祖母)さんの親子三代、四人組が参加。睦さんは、日菜ちゃんは、今日の練習の前に参加者全員で読んだぞうれっしやの絵本のなかで、「熊が殺されたところがかわいそつだった」との感想。次は友達を誘って一緒に歌いたいとのりのりでした。もう全曲歌えるぞつです。

うたごえ新聞200部達成

一昨年度(2023年度)4月、佐賀のうたごえ新聞の購読部数は74部(佐賀分局58部、鹿島分局16部)でスタートしたが、2023年3月には1233部(佐賀102部、鹿島21部)となり、佐賀分局が支局へ格上げとなるなど、飛躍的な発展を遂げることができた。その勢いを駆って、2023年度は目標を全国協議会までに77部増の200部と定めた。協議会の会員数が60名にも満たない佐賀

ら、4月14日に開催する佐賀のうたごえ協議会総会までに200部達成を当面の目標として掲げて取り組んだ結果、総会3日前の4月11日には目標達成の嬉しい知らせを協議会の皆さんにお伝えすることができた。(佐賀168部、鹿島32部)



(関連動画)



(祭典HP)



(読者拡大賞)

2024年度は250部を目標し、気持ちを新たに取組んでいく。

うたごえ喫茶で運動を広げる



(うたごえ喫茶：鳥栖市)

2000年合唱団コールほけつとが誕生した当初は、佐賀市を中心に「うたごえ喫茶」を開催してきたが、協議会発足後6団体にまで加盟団体を増やし、これまで「うたごえ喫茶」を開催してこなかった、いわば空白だった地域でも、取り組まれるようになってきた。うたごえ運動が佐賀県の中心地から徐々に地域に広がり、地域に根差した活動が展開されるようになってきたのがここ数年の大きな特徴の一つに

なっている。佐賀県で祭典を成功させるためには、これをさらに発展させ、佐賀県のすべての地域から多くの人に祭典成功に向けた取り組みに参加してもらうことがとても重要になっている。

今、6つの地域実行委員会と青年の「ませこせ実行委員会」が発足し、地域に広がっていく土台を築くところまで来た。そして、「歌でつながり歌で広げる」「うたごえ喫茶」が各地の地域実行委員会を取り組まれるようになり、大きく変化してきている。

4月27日は、人口23万人の佐賀市地域実行委員会「うたごえ喫茶」が開催され、4月29日は、神埼市の周辺部にあたる人口1500人くらいの脊振町で開催される。

5月20日は小城多久地域実行委員会主催で、5月30日は武雄市山内町で西部地域実行委員会主催で開催が決まっている。

昨年3月に誕生した「嬉野うたごえサークル」では、歴史のある街塩田町の古民家を借りて月1回定期に開催するようになった。塩田町は、六角川を利用した舟運が江戸時代以前から盛んで、有田焼の陶

これからのイベント

- 4月28日 (日) 第1回九州合同練習会
熊本市託麻公民館
- 5月 1日 (水) メーデー
- 5月 3日 (金) 憲法集会
佐賀県教育会館
講師：高良沙哉
(沖縄大学人文学 教授)
- 5月18日 (土) 西日本合唱講習会
福岡市立南市民センター
- 5月19日 (日) 西日本合唱講習会
福岡市男女共同参画推進センター アミカス
- 6月22日 (土) 九州作文の会
オープニングで演奏
- 6月23日 (日) 佐賀県母親大会分科会
全体会で演奏
- 6月30日 (日) プレコンサート
ゲスト：映画「ら・かんぱねら」のモデルとなった海苔漁師の徳永さん
合唱曲披露 (一部)

合唱曲集できました

【収録曲】

- ①あつまろう佐賀へ!
- ②love&Peace未来の子どもたちへ
- ③宝の海よ
- ④空を海をいのちを (佐賀バージョン)
- ⑤地底の歌
- ⑥わが母の歌
- ⑦心はいつも夜明けだ
- ⑧いのちをうたおう
- ⑨たいせつなこと
- ⑩もう一人行進曲
- ⑪その手の中に
- ⑫明日はきっといい日になる
- ⑬Peace be with you(「樹形図」より)
- ⑭アメイジング・グレイス
- ⑮リパブリック讃歌

2024年11月30日～12月1日に開催される日本のうたごえ祭典in佐賀 Love & Peace ~未来の子どもたちへ~の合唱曲集です。同祭典で演奏される予定の合唱楽譜を掲載しています。

4月26日発売 (音楽センター出版) 1,800円



石や炭鉱の石炭を運んでいた。かつて長崎街道の宿場町、有明海の港町として栄えたこの地に、「うたごえ喫茶」が街の活気に一役かかっている。その他でも開催計画がすすめられている。祭典成功に向け、地域でつながる「うたごえ喫茶」を旺盛に取り組んでいこう。



チケット販売までに「開催地賛同金300万円」という最終目標に261万9千円まで到達(4/21現在)。2023年10月から始まった賛同金募集に、一人ひとりを訪問し粘り強く賛同者を広げている合唱団員、各地域実行委員会の話し合いから意識的に活動をしている方々、みんなの力の結集が実を

結んできています。一般賛同金558人(1009口)、特別賛同金154人(161口)の応援を、ステージ出演やチケット販売に広げていくように「作戦立てて行動」している。今、いくつかの地域実行委員会、合同合唱曲から曲を選び練習を始めている。全国実行委員会の後、7都府県のうたごえ合唱団の皆さんから26万円の賛同金が寄せられている(4/20現在)。「人・金・うたごえ」の力があつてこそ、祭典成功につながります。小さな県「佐賀」の挑戦に全国からの応援をお願いします。

「呼びかけ人」は現在、佐賀から96名。全国から88名です。メッセージを紹介します。小村公次氏(音楽評論家より)「九州・佐賀での「日本のうたごえ祭典」開催が成功することを心より願っております。今年は荒木栄生誕百周年にあたりますが、彼が活躍した九州で「日本のうたごえ祭典」が開催されるということに深い縁を感じています。微力ながら、祭典成功のために尽力するつもりです。がんばりましょう。」